

東京都赤十字功労表彰受章者 受章おめでとうございます

令和4年度

- 業務功労感謝状 ▶ 馬場 昭子 (永福町)
- 業務功労感謝状 ▶ 野田 道子 (上井草)
- 奉仕団銀色有功章 ▶ 高山 恵子 (上井草)
- 奉仕団金柁支部長感謝状 ▶ 三隅 恵子 (上井草)
- 奉仕団銀柁支部長感謝状 ▶ 和田 初子 (文化連盟)



敬称略、順不同
カッコ内は所属分団

令和4年度 活動報告



▲駅頭キャンペーン



▲PRパネル展示



▲奉仕団研修会 (視察)

名称	日にちなど
駅頭キャンペーン	5月6日
PRパネル展示	5月10日
大宮二丁目自治会 携帯トイレ作成	5月22日
奉仕団総会	5月25日
泉南中学校震災救援所 携帯トイレ作成	6月8日
奉仕団研修会 (視察)	10月26日
杉並区総合震災訓練	11月12日
杉並第二小との清掃活動	11月14日・17日
奉仕団研修会 (座学)	11月21日
ボランティアフェスティバル	3月11日 (予定)
献血奉仕	5月、8月、11月、 2月 (予定)
手芸奉仕	毎月第3木曜日 計12回 (予定含む)
奉仕団委員会	4月、6月、9月、12月、 2月 (予定)



▲杉並区総合震災訓練



▲奉仕団研修会 (座学)



▲献血奉仕



▲手芸奉仕



▲杉並第二小との清掃活動

編集後記

●地域の中の奉仕団員として1人1人が学び、そして活動を通して伝えることの大切さを重点に編集に力を入れました (石田) ●コロナに注意しながら、地域の中の奉仕団活動もようやく動き出しました (長澤) ●「携帯トイレ」作りに参加し、皆様の熱意が伝わってきた一日でした。これからも普及させたいです (谷口) ●奉仕団活動を通して、地域と日赤のつながりを「糸」から「綱」へ (山本) ●順調に活動出来た今年度は紙面も充実しました。各方面での活動ぶりを知っていただくと幸いです (野田) ●ホットタオルの作り方を実習しました。疲れた体に気持ちよく、心も暖かくなりました (滝沢)

編集委員

編集委員長：石田悦実
編集委員：長澤百合子・谷口悦子・山本すみえ・野田道子・滝沢桂子

発行責任者：矢崎芳子



杉並区赤十字

奉仕団だより

〈赤十字国際標語〉

人間を救うのは、人間だ

赤十字七原則

人道
中立
公平
独立
無党派性
普遍性
赤十字主義

「赤十字奉仕団員の信条」

- 一、すべての人々のしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 一、常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。

『地区長就任にあたって』

日本赤十字社東京都支部
杉並区地区地区長 (杉並区長)



岸本 聡子

杉並区赤十字奉仕団員の皆様には、日頃より献血活動への奉仕活動や駅頭キャンペーン、携帯トイレの普及事業のほか、先日行われた杉並区総合震災訓練での炊き出し訓練など、様々な取組にご尽力いただいております。誠にありがとうございます。

さて、本年7月から、杉並区長就任とともに日本赤十字社東京都支部杉並区地区の地区長を務めさせていただくことになりました。40年を越えた歴史ある杉並区赤十字奉仕団の皆様と赤十字活動に携わることができることを誇りに思います。

私は区長就任以来、区民の皆様との対話を大切にするとともに、57万区民の「命と暮らしを守る」ことが最優先課題と考えております。皆様の地域における活動は、普段から災害に備えることで、いざという時に「区民の命と暮らしを守る」活動として威力を発揮するものです。災害に強い地域社会の形成はまさに私の目指すところでもあり、皆様の不断の努力に心より感謝申し上げます。

杉並区赤十字奉仕団員の皆様、ますますのご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

『出来ることを出来るときに』

杉並区赤十字奉仕団 委員長
矢崎 芳子



皆様お健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

令和4年度は、感染症の猛威もやわらぎ活動に踏み出して良いのかどうかという状況の中でのスタートでした。3年ぶりの取り組みは、アンリー・デュナン誕生日にちなみ5月の赤十字月間、活動パネル展、献血の声掛け、夏休み・冬休みを除く毎月第3木曜日の手芸・バス利用の研修・区の総合震災訓練のカラーの配膳等々ありました。

5月の赤十字月間で地域の方々を始め、奉仕団の方々にご協力頂いている支援金は、国内救護、海外救護、防災・減災の普及啓発、未来を担う青少年への橋渡し等、日本赤十字社の幅広い活動に活用されます。私たち奉仕団は日本赤十字社の支援団体として続ける事が大切です。活動に心良く参加して下さる方々には感謝感謝です。もちろん事情があったり、都合がつかなかったりで参加できないこともあるでしょう。ですが、支援金の協力を続ける事も、活動に参加していることです。出来ることを出来るときに、今の自分に合った活動をとっております。

自助・互助の時代に健康生活支援の知識を共有すべく、団員達は進んで講習を受けております。

どうぞ地域の皆様もお声を掛けてください。お役に立てるかと思っております。

杉並区赤十字奉仕団へのお誘い

～あなたも一緒に活動してみませんか？～

私たちは、献血奉仕・防災食講習・裁縫奉仕など地域で活動しています。一人ひとりの小さな行動が大きな力につながります。

問合せ先：杉並区赤十字奉仕団事務局
TEL 03-3312-2111 (内線 3087・3088)



第40号 令和5年1月発行(年1回発行) 発行：杉並区赤十字奉仕団
事務局：杉並区保健福祉部管理課地域福祉係 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111(代)

地域の中の奉仕団!

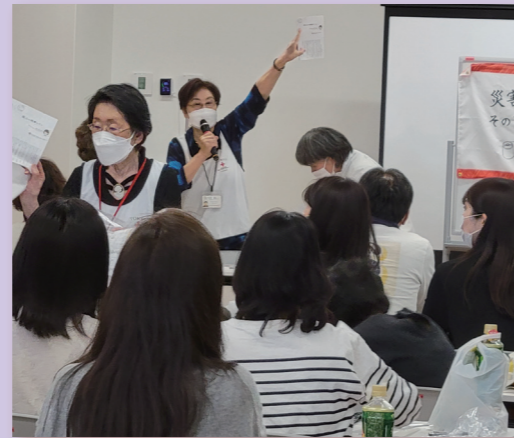
私たち杉並区赤十字奉仕団は常に地域とともにあります。今年は特に災害時に活用できる携帯トイレの普及に力を入れ取り組んできました。ここでは自治会、学校（震災救援所連絡会）との連携について報告します。

大宮二丁目自治会と

災害時初期の問題は？ 被害の把握、収拾、インフラの正常化です。そして何より大切なことは生理的現象の処理です。トイレの使用が困難な時に必要なものを用意しておくことが大切なことだと思います。そこで、女子中学生が考案した携帯トイレを地域の皆さんにも普及したいと思いました。

事業の流れ

- ①日赤東京都支部から500組のセットを自治会に寄与。
- ②令和4年5月…奉仕団員による部品のセット。
- ③5月22日…自治会総会後の研修で奉仕団員による携帯トイレの作り方・使用法の説明。奉仕団の活動状況を委員長から報告。
- ④研修時に合計160セットを配布。
11月6日…自治会防災訓練時に150セットを配布



大宮二丁目自治会会長から

「ご協力いただきありがとうございました。今後も日赤と地域が連動して災害時、非常時に協働できるよう、ご配慮くださいましたら幸いです。よろしくお願いたします。」



泉南中学校震災救援所と

令和4年6月8日、泉南中学校震災救援所の総会が泉南中多目的室で開催され、終了後参加者と日赤奉仕団で日赤の携帯トイレを作成しました。

災害時のトイレの必要性や、日赤東京都支部が普及に力を入れている「魔法の携帯トイレ」500セットの配布を都支部から受けたこととお話した後、奉仕団員がトイレの作成について説明。参加者全員で作成し、大変喜ばれました。

今後、泉南中学校全校生徒が奉仕団員と共に作成する企画をしています。

震災救援所とは？

震度5強以上の地震が発生した際に、区立小中学校等に開設され、家が焼けたり、倒壊したりして、自分の家にいられなくなった住民が避難したり、救護活動を実施する拠点です。



学び続けること

令和4年研修報告

バス研修

10月26日(水)、快晴の下、3年ぶりのバス研修が実施されました。気象庁気象科学館では、いろいろな体験をしながら楽しく防災・減災を学ぶことができました。

その後、皇居一般参観、日本オリンピックミュージアムの見学。親睦も深まり意義ある初秋の一日でした。

- ・気象庁の津波の発生の仕組みや、積乱雲のクイズ体験など勉強になりました。
- ・水害の災害は大きいと感じました。

(参加者の感想から)



座学研修

11月21日(月)午後から日赤東京都支部の森山紀子講師による研修会が開かれました。テーマは「災害の備え・災害が起こった時にあなたが支援できること」について研修を受けました。ホットタオル、ももたろうdeリズム体操などを楽しく体験しました。

学んだこと

1. 災害について
2. 災害が高齢者に及ぼす影響
3. 接するときの心づかい(高齢者・認知症)
4. 気をつけたい病気や症状と予防
5. 知って役立つ技術(実技)

ホットタオル作り



リズム体操

- ・自分だけでなく、周りの皆が手助けすることで、気分良く過ごせることが分かった。
- ・新たな気持ちで思い出し、繰り返し身に付けることが大切だと感じた。
- ・ホットタオルは少量のお湯で簡単に作れ、とても気持ちがよかった。

(参加者の感想から)

